

2026年度事業計画の策定に向けて～スローガンの制定と主な課題～

2026.1.24 理事会

2026年度の事業計画は、3月開催の理事会において決定する。事業計画は、定款第4条に定める項目に沿って定める。

2025年度は、一般社団法人となった関西女子学連としての事業計画をもつ二年度目となる。2024年度より定款第4条に示している事業内容に沿って計画を立案しており、今年度も同様とし、これもとづいて事業を実施することが基本となる。

【定款第4条（事業）】

当法人は、第3条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) バスケットボール競技会の企画、運営、開催
- (2) 国際又は国内競技会に参加する関西地区のチーム編成及び選手派遣
- (3) バスケットボールの普及・振興
- (4) 指導者及び審判員の育成等のための講習会、研修会等
- (5) バスケットボールに関する情報提供サービス等
- (6) バスケットボールに関連する商品化と、その企画・制作・販売等
- (7) 当法人に関する知的財産権などの諸権利の管理等
- (8) 社会連携、地域連携
- (9) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

2025年度の事業を通じて明らかになり、2026年度に反映させるべき課題を次の通り整理した。

1. 関西女子学連としての「スローガン」を掲げること

これまでの事業を踏まえて、今後、関西女子学連として大切にしたいことを「スローガン」として定め、内外に公表し、それに基づく事業計画を策定する。

スローガンは別途提案する。

2. 2026年度の事業計画に反映させる事項

2025年度事業を通じて明らかになった課題で、2026年度事業計画に反映させる事項は次の点である。

- (1) 関西女子学連として「スローガン」を掲げる（前述）
- (2) 3×3に関わる事業の開始
- (3) 加盟のハードルを下げるため、会費、運営協力費、大会参加費見直しの検討（別途提案）
- (4) より適正な試合環境を整える取り組み（2部ゲームの審判3パーソン化追求など）
- (5) 未加盟、あるいは加盟を躊躇するチームを巻き込む取り組みの強化（交流戦等）
- (6) 豊中市との連携の取り組みを踏まえた地域・社会と交流・連携の取り組みの強化
- (7) 協賛企業から協賛・協力拡大の取り組み（冠大会化、協賛企業のニーズ把握等）
- (8) 50周年事業構想検討委員会の活動に沿った周年事業準備

(以上)

一社 全関西大学女子バスケットボール連盟 定款



第2章 目的及び事業

第3条 (目的)

当法人は、学生の本分を守りながら、関西地区（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県の2府4県をいう）に所在する大学及び短期大学の、女子学生バスケットボールの競技力向上と健全な発展、及び加盟校会員相互の心身の陶冶と親睦を図り、女子学生バスケットボールの進歩普及を目的とする。



Slogan (理念 : 方向性)

Play Hard, Respect Always — 常に敬意を

Mission (使命 : 何のために存在するのか)

私たちは、学生バスケットボールを通じて競技力の向上と人間的成長を促し、健全かつ魅力あるスポーツ文化を育むことを使命とします。

Vision (目標 : 達成したい状態)

私たちは、*Play Hard, Respect Always* の精神を基盤とし、日本一フェアで魅力ある大学女子リーグを実現するとともに、社会に信頼される人材を育成し、大学スポーツの模範となる組織を目指します。

Value (価値観/行動規範)



- **Respect (尊重)**
選手、指導者、審判、運営者、観客、そして自分自身を尊重する。
- **Fairness (公正)**
ルールとマナーを重んじ、正々堂々と競技に臨む。
- **Commitment (全力)**
勝利を目指し、努力を惜しまず、常に全力を尽くす。
- **Growth (成長)**
勝敗を超えた学びを大切にし、次なる挑戦につなげる。
- **Community (つながり)**
大学間の交流や地域貢献を通じて、バスケットボール文化を広げる。



Play Hard, Respect Always — 常に敬意を

2026/03/08/インテグリティ研修

一般社団法人 全関西大学女子バスケットボール連盟
専務理事：坂井和明（武庫川女子大学）